

3

In a small house on the skirts of a village,
a cute girl and her mother lived together.

The girl always wore a red riding cloak, and so she
was called Little Red Riding Hood.

One day, Little Red Riding Hood left the house to
visit her grandmother who was sick and lived alone.

She brought cookies her mother baked to give
them to her grandmother.

“Hey Mum, I am leaving now.”

“Be careful with wolves; they can fool people.”

“Yes, I will be careful!”

Little Red Riding Hood responded to her mother
cheerfully.



5

Her grandmother's house was located in a deep, deep forest.

Little Red Riding Hood skipped through a narrow path in the forest.

After skipping for a while, she came to an open field where there laid a beautiful field of bloomed flowers.

"Wow, what a pretty flower. I should pick this for my grandmother!"

As she skipped to the flower patch, suddenly, a wolf appeared in front of her.



むらはずれの ちいさな いえに、
かわいい おんなのこが、
おかあさんと ふたりで すんでいました。
おんなのこは いつも あかい ずきんを
かぶっていたので、『あかずきんちゃん』と
よばれていました。

そのひ、あかずきんちゃんは、ひとりで
びょうきの おばあさんの おみまいに でかけました。
おかあさんの やいてくれた クッキーを もって、
さあ しゅっぱつです。

「それじゃあ おかあさん、いってきまーす」

「おおかみには きをつけるんですよ。

ひとを だましたり しますからね」

「はーい！」

あかずきんちゃんは おかあさんに、
げんきよく へんじを しました。



おばあさんの いえは、
もりの ずっとおくに ありました。

あかずきんちゃんは スキップをしながら、
もりの こみちを すすんでいきました。

そのまま しばらくいくと、あかずきんちゃんは、
きれいな はなが たくさんさいている、
はなばたけに やってきました。

「まあ、きれいな おはな。
おばあさんへの プレゼントに しましょう！」

あかずきんちゃんが、はなばたけに かけようとした
そのとき、とつぜん めのまえに、
いっぴきの おおかみが あらわれました。

